

市政記者各位

令和4年12月12日

分身ロボット「OriHime(オリヒメ)」 介護事業所での実証事業がスタート！

福岡市は、人生100年時代の到来を見据え、健康で自分らしく暮らせる社会をつくるプロジェクト「福岡100」に取り組んでいます。重度障がいや難病などにより外出困難な方が、自宅に居ながらも社会参加が可能となることで、誰もが自分らしく暮らすことができる社会の実現のため、分身ロボット OriHime を活用した事業を10月より博多区役所で実施しました。

この度、OriHimeを活用した実証事業を**介護施設でスタート**します。**重度障がいのある方などの活躍の場の創出**に加え、**施設利用者のサービス向上や介護従事者の負担軽減**といった**効果も期待**されます。

市政記者の皆様におかれましては、ぜひ取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

※『OriHime』は(株)オリイ研究所の登録商標です。

1 分身ロボット「OriHime (オリヒメ)」

- 株式会社オリイ研究所が開発した分身ロボット
 - ロボットを遠隔操作し、操作者の分身として、そこにいるかのようなコミュニケーションが可能。
 - ロボットにはカメラ、マイクが搭載。会話が可能。
 - 顔や腕が動き操作者の感情を動きで表現できる。
- ※「福岡100」の「**Beyond バリアプロジェクト (※)**」として活用

【イメージ写真】



2 実証事業の概要

(1) 業務内容

高齢者との**コミュニケーションを中心とした業務**に、重度障がいや難病などで外出が困難である13名のパイロット（OriHime操作者）が、1人1時間毎のシフト制で従事する。

(2) 実施場所

社会福祉法人 敬愛園 千代パピヨンデイサービスセンター
(福岡市博多区千代1丁目30-25)

※現地での取材については、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮のうえ調整させていただきますので、問い合わせ先へおたずねください。

(3) 実施期間

令和4年12月19日(月)～令和5年2月10日(金) 予定

※「Beyond バリアプロジェクト」

だれもが役割をもって活躍できるまちを目指し、高齢者や障がい者などの様々な属性の様々な環境にある方の就労や社会参加を促進するため、時間や距離、参加手段等の制約を超えた多様な働き方、多様な活躍の場をつくるプロジェクト。



福岡100WEBサイト



カイゴの魅力発信動画

【問い合わせ先】

福祉局高齢社会部高齢社会政策課
担当：草場、福留
TEL：092-711-4595（内線：2125）
FAX：092-733-5587